

今回は接頭辞と接尾辞。前期で扱っていない項目の為、省略せずに解説する。

まずは接頭辞。接頭辞は、文字通り単語の頭に付ける語のことで、これらの2語以上を1語で表す役割がある。ドイツ語はこの操作で1語のスペルが英語より長くなる傾向にあるが、ウクライナ語では適宜切れているので、さほど気にする程のものではない。動詞や形容詞などに付けると意味が変わるものがある。以下はそれに該当する代表的な単語リスト。

単語	意味	接頭辞有	意味
грати	プレイする	виграти	勝つ
		програти	負ける
давно	かなり前	недавно	最近
дати	与える	додати	加える
		надати	提供する
		продати	売る
день	昼、～日	південь	南
ніч	夜	північ	北
хід	(歩く)道	захід	西、日の入り
		схід	東、日の出

また接頭辞を付けると格変化が起こるものもある。これは英語でいう every に相当するものが該当する。(属格への変化)

単語	意味	接頭辞あり	意味
понеділок	月曜日	щопонеділка	毎週月曜日
вівторок	火曜日	щовівторка	毎週火曜日
середа	水曜日	щосереди	毎週水曜日
⋮		⋮	
неділя	日曜日	щонеділі	毎週日曜日

ここで例題。

- Я ходив туди **щопонеділка і щочетверга**. (私は毎週月曜日と木曜日にそこへ歩いた。)
- Якщо я **виграю**, дайте мені це. (私が勝ったらこれをよこして。)
- Кому ти нещодавно **програв**? (最近誰に負けた?)

Порада: 格の名前

ここでは主格、属格、対格、具格、処格、与格と呼んでいるが、スラヴ語学習においてしばしば属格を生格、具格を造格、処格を前置格と呼ぶ。これは訳語の違いにすぎず、本質的な意味は同じである。また、英語学習における目的格は、対格、処格、具格と与格を吸収合併した格である為厳密には異なる。

次は接尾辞。ウクライナ語における接尾辞で頻出なのは **сь** と **ся** の 2 つである。

接尾辞 **сь** は疑問詞に付けて「～か(**десь** などどこか)」という意味を持つ。また、動詞に付けると目的語を取らず、主語自身が目的語になる。

接尾辞 **ся** は疑問詞には付かず、動詞に付ける。役割は **сь** に同じである。(詳しくは前期第 30 回参照)

このほか、外来語の名詞に **увати** をつけて動詞化したり、ふつう男性形に用いる名詞に **ка** をつけて女性形にしたりと豊富な変化がある。

(例)

- **Ця офіціантка любить фотографувати.** (この女性ウェイターは写真を撮ることが好きだ。)
- **Усміхаюся, і усміхаєшся?** (私は笑っているが、君は笑っている?)

□練習問題

この文章はメイが継いだ「山本ウクライナ語教室 品川教室」の概要をウクライナ語に訳したものである。以下の問に答えよ。

Український клас Ямамото в Шінагаві працює щодня, крім середи і неділі. Хочете вивчати українську мову? Якщо так, будь ласка, приходьте сюди!

Місце: 8 хвилин ходьби від станції Аомоно Йокочо і станції Самедзу, 5 хвилин ходьби від станції Оїмачі.

Час: з 10:00 до 13:00 і з 16:00 до 21:00.

Викладач: Мей у понеділок, вівторок і п'ятницю, Квітка у четвер і суботу.

Гроші: 15000 ієн, включаючи податок на місяць. (Якщо їдете 3 дні на тиждень)

Підручник: 2 200 ієн плюс податок за використання паперу, 1 980 ієн плюс податок за використання без паперу.

- (1) 所在地はどこか。
- (2) 土曜日はメイとハナちゃんのうちどちらの担当か。
- (3) 教室の月謝はいくらか。
- (4) テキストの料金はいくらか。税込で答えよ。

□練習問題

ウクライナ語を和訳せよ。

- (5) Ідїть на схід.
- (6) Діти тут не усміхаються.
- (7) Він фотографував потяги.
- (8) Хто виграв?